

カブスカウト



修行3日目：7月19日（月）

基地撤営



せっかく作った基地ですが、帰宅のため撤収です。いつかまたどこかで作りましょう。

思い出作り



木工工作をしました。3日間の自分の成長した姿を写す鏡を貼り、彫刻したり木の実で飾り付けを行いました。



昼食は冷やしうどん。深見さんの作ってくださった竹の器が一層、美味しさを引き立てました。

今年スカウト達の成長を強く感じたキャンプとなりました。一つ一つの活動に一生懸命取り組み、組のみんなで話し合い、段取りを決めて行動するスカウト達に感動すら覚えました。特に、暑い中でのハイキングは部長・次長がとてもしばらしかったです。自分もヘトヘトになりながらも、組をまとめるように声をかけ、くじけそうな子には寄り添い励ましを掛けるなど、とても頑張っていました。キャンプでのスカウト達は、今年の暑かった太陽よりも、更に熱く眩しかったです。カブ隊のみんな、思い出深い感動の三日間をありがとう!!

1組DL 江口 里紗

前日までの大雨で、今年のキャンプも雨の中かと思っていたら、スカウト達の心掛が良いのか、とても過ごしやすい気候の三日間でした。2組のスカウト達と過ごした三日間で印象に残ったのはハイキングです。ルートを間違えたため、下ってきた山をまた引き返し登って戻ることに。。。お昼の休憩が20分、途中の休憩も5分程度ずつ少しの時間しか取れなかったにも関わらず、4時間もの間、立派に全員で歩ききりました。一緒に同行してくれた、デンコーチの2人の力のおかげでもあります。ハイキングだけでなく、みんなと過ごした三日間の思い出は、いつまでも私の心に残ることでしょう。

2組DL 小川 万恵子

今回の夏季合宿訓練は、カブ隊の隊長代理として参加させて頂きました。久しぶりにカブ隊の活動プログラムの企画と実施をさせて頂き、カブ年代の「自衛」にあった活動ができるかどうか大変不安でした。大きなテーマに沿って一つのプログラムが終了していく過程で、私がいつも思うことは「ワクワクドキドキ」する感動と達成感をスカウトに与えることが出来ているかどうかということです。でも、そんな不安も思いも知らずにいつもどこかに行ってしまう。竹のティビーでは、みんなで協力して新聞紙を貼り、料理作りでは少し失敗しましたが1組2組とも美味しくできました。アスレチックでの笑顔やハイクのつらい顔。。。そして氷晶を見つけたときの驚きとゴールでの安堵の表情。工作の真剣な顔、キャンプファイヤーのはにかんだ仕事。。。終わってみると私が感動と達成感をスカウトからもらっているような感じがします。今回は、その「不安」といつもにない「感動と達成感」を感じられた夏季合宿訓練だったと思います。最後に天候に恵まれたこと、それに伴いよりも良い指導者とデンコーチに助けられて、無事大きな事故もなく終了できたことに感謝いたします。

ボーイ隊長 林 尊浩



ふしぎの不思議 ドラゴンボールの道

(平成22年度夏季キャンプ <岳見高原キャンプ場にて>)

修行1日目：7月17日（土）

基地作り



1組



2組



天下一料理会



1組



2組



1組-マーボー豆腐
2組-回鍋肉
を組員で協力して作り、審査していただきました。

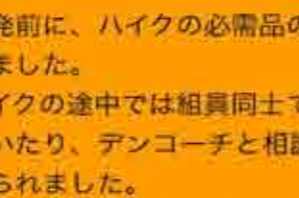
聖地竜吟峡ハイキング



1組



2組



出発前に、ハイクの必需品の杖を作りました。ハイクの途中では組員同士で課題を解いたり、デンコーチと相談する姿がみられました。所要時間4時間の長いハイクでした。

カメハメハ祭り



名物ドラム缶風呂



1組



2組

朝は毎日、隊長の点検を受けました。